

保護者各位

岩手県立雫石高等学校

校長 松尾 和彦

北朝鮮による弾道ミサイル発射に係わる対応について

初秋の候 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の活動に格別のご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、このことについて、内閣官房、文部科学省、岩手県教育委員会から通知がありました。

については、Jアラート等を通じて緊急情報が発信された際の生徒等の避難誘導等の安全確保の方策について、下記のとおりといたします。

ご家庭におかれましても共通理解を図るとともに、生徒等にあらかじめ注意喚起をお願いいたします。

なお、この度の通知を受けて、本校危機管理マニュアルを改定する予定です。

記

- 1 始業前においては、登校前の生徒等は自宅待機とし、登校中又は既に登校している生徒等については、別紙のとおり行動をとること。
- 2 臨時休業の取扱いについては、生徒等の安全確保に努めることを最優先とし、学校の状況に応じて、学校長が判断する。

(別紙)

## 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動例について

(平成 29 年 9 月 14 日付け閣副事態第 435 号「北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合における全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達について」を参考に作成)

### 1 Jアラートを活用した緊急情報が発信された場合の行動例

- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、Jアラートを通じて、防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか、緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので、メッセージが流れたら、落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

#### 【屋外にいる場合の行動例】

- ・近くの建物の中、又は地下などに避難する。
- ・近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。

#### 【屋内にいる場合の行動例】

- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。

#### 【自動車の車内にいる場合の行動例】

- ・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて建物の中、又は地下街などに避難する。周囲に避難できる建物や地下街などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

### 2 ミサイルが通過した場合の行動例

- ミサイルが日本の領域外の海域に落下、もしくは上空を通過した場合にとるべき行動の例は以下の通り。
- ・引き続き屋内に避難する必要はないが、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察、消防等に連絡をする。

### 3 ミサイルが着弾した場合の行動例

- ミサイルが着弾した場合にとるべき行動の例は以下の通り。
- ・屋外にいる場合で近くにミサイルが着弾した場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、目張りをして室内を密閉する。
- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。